

甲陽学院中学突破カリキュラム

各学年の学習ポイント

入試データとポイント

学習計画

対策の特徴

◎ 年間スケジュール

| | 2月～7月 | 8月～1月 | 2月～4月 | 5月～8月 | 9月～11月 | 12月～1月 | | |
|-------------|---|-------|---|--------|--|--------|--|----------------------|
| 学校行事 | 期末テスト 三者面談 | | | | | | | |
| トライ対策スケジュール | 5年 基礎力養成期 | | 6年 | | | | | |
| | | | 応用力養成期 | 発展力養成期 | 実践力養成期 | | | |
| ポイント | 算: 四谷大塚予習シリーズ5年生上、演習問題5年生上、計算1行問題集5年生上 国: 四谷大塚シリーズ5年生上、演習問題5年生上、漢字の学習5年生上 理: 四谷大塚シリーズ5年生上、演習問題5年生上 | | 算: 四谷大塚予習シリーズ5年生下、演習問題5年生上、計算1行問題集5年生下 国: 四谷大塚シリーズ6年生上、演習問題6年生上、漢字の学習6年生上 理: 四谷大塚シリーズ6年生上 | | 算: 四谷大塚予習シリーズ6年生上、演習問題5年生上下、近畿の中学入試問題 国: 四谷大塚シリーズ6年生上、演習問題6年生上、漢字の学習6年生下 理: 四谷大塚シリーズ6年生上下、演習問題6年生下 | | 算: 4科のまとめ 高偏差値中学の過去問・難関8校の算数10年 国: 4科のまとめ 近畿の中学入試問題・高偏差値中学の過去問 理: 4科のまとめ・中学用理科のまとめ | 算・国・理: 実力完成問題集、過去問題集 |
| ポイント | 算数の入試問題: 時間との戦い! 発展問題への対策! 解答の実践と傾向! 国語の入試問題: 記述問題への対策! 漢字は難しい問題が含まれている。物語文では心情の読み取りや状況理解の問題が多い! 理科の入試問題: 問題の難易度の大きな差があるため、順番に解かず解けず問題から解く! 理科で点数を稼げるように事前の準備をする! | | | | | | | |

◎ こういう生徒にお勧め!

現在トライを利用中の方に最適なプランです。

- ・低学年「ノートの使い方等、勉強の仕方をも身につかせたい」「合格のために早くからしっかりと対策をさせたい」
- ・中学年「わからないところが増えてきた(苦手意識が出てきた)」「中学受験の準備がまだできていない(意識が足りない)」
- ・高学年「塾の内容についていけない」「偏差値が足りない」「なんとか受験に間に合わせたい」

◎ 対象エリア

対象学年: 小学3年～6年生
対応地域: 兵庫県を中心とした近畿圏内
指導期間: お申し込み時から受験日の月末

◎ 対策の特徴

- 特徴1
細かい計画・戦略を練ったプロによる指導が受けられる
- 特徴2
超難問への解き方対策。テクニックや考え方をしっかり身に付けることができる。
- 特徴3
塾の解き方にあわせて指導～より簡単な解き方まで生徒に合わせた指導が受けられる。
- 対応教師
プロによる指導が好ましい。セレクトBからプロアドバンス

◎ Data Mining

| | |
|------------|--|
| 入試データ&ポイント | 平成20年度は募集人数180人に対し、受験者数398人、合格者212人、合格最低点378/500点 ポイント: ・全体的に非常に高度な思考力を問われる。計算力を早期に高め、対策をする必要。・算数は計算問題の出題がほとんどなく解く課程で計算力を求められる。単純な文章題も少なく、条件を整理しあらゆる角度から解く問題が多い。・国語は豊富な知識と読解力・記述力が求められる。事前にハイレベルな文章題を解く必要がある。普段から記述になれる習慣が必要。・理科は文章説明問題と図等を用いた記述があるので、普段から問題慣れをする必要。分野も幅広く難易度の高い問題が出る。 |
| 算数 | 試験時間55分×2。目標点数53点×2。応用計算問題が早く解けるようにする。平面図形・立体図形は発展問題が解けるようにする。場合の数・規則性の問題・旅人算は頻出。出題分野: 応用文章題12(立体図形、平面図形、場合の数、数の性質、旅人算、規則性、図形移動、角度、比の性質) |
| 国語 | 試験時間55分×2。目標点数60点×2。長文読解は記述問題がメイン。60字から100字で文章をまとめる問題がでる。要約や説明問題の慣れが必要。文章の構成や内容をきちんと理解しないと正答を書くことができない。語彙問題は難問を含む。出題分野: 物語文2、論説文2、漢字15、語彙問題8 |
| 理科 | 試験時間55分。目標点数65点。文章説明、図の記述問題があるため、思考力を高める学習が必要。入試前には中学生が使用する理科のまとめで、理科のチェックをする必要がある。難問は物理と化学に多いため、日ごろから発展問題になれる必要がある。出題分野: 物理分野2、化学分野2、生物分野1、地学分野1 |
| 学校情報 | 教育方針と学校生活: 中高6年一貫教育であるが、中学校と高等学校とを別の場所に設けてある。授業の進度は速く、かつ高度な物を含む。クラス替えは毎年行なうが、担任団は原則6年持ち上がり制である。日々の勉強を奨励するため、原則補習の制度が無い。進学情報: 高校進学→併設高校への進学 甲陽学院中学で一定条件を満たしたものは無試験で高等学校に進学することができる。主要大学進学(2011)→東京大学25人、京都大学62人、大阪大学29人、神戸大学15人など国立大学計183名、私立大学計166名 |